



2023年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年11月8日

上場会社名 シップヘルスケアホールディングス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3360 URL <https://www.shiphd.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大橋 太
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 横山 裕司 (TEL) 06-6369-0130
 四半期報告書提出予定日 2022年11月11日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第2四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	263,520	12.3	7,971	5.0	7,498	1.6	4,143	0.6
2022年3月期第2四半期	234,663	—	7,593	△3.1	7,378	△10.8	4,118	△12.6

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 6,774百万円(84.6%) 2022年3月期第2四半期 3,670百万円(△42.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	43.92	39.80
2022年3月期第2四半期	43.65	39.57

(注)「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を前第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、2022年3月期第2四半期に係る各数値については、当該会計基準等を適用した後の数値となっております。これにより、売上高につきましては、対前年同四半期増減率を記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第2四半期	360,355	125,267	33.6
2022年3月期	335,074	122,318	35.3

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 121,212百万円 2022年3月期 118,289百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	0.00	—	41.00	41.00
2023年3月期	—	0.00	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	—	—	42.00	42.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	560,000	8.9	21,000	2.4	21,000	△1.4	12,500	2.7	132.49

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期2Q	101,669,400株	2022年3月期	101,669,400株
② 期末自己株式数	2023年3月期2Q	7,319,138株	2022年3月期	7,319,116株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期2Q	94,350,268株	2022年3月期2Q	94,350,320株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、新型コロナウイルス感染症による影響が長期化する中、感染者数の減少により景気回復の動きが期待される一方、ロシア・ウクライナ情勢長期化による資源価格の高騰、それに伴う物価高の懸念、急激な円安の進行等、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社グループの属する医療業界では、新型コロナウイルス感染症「第7波」による発熱外来の逼迫や医療従事者の感染増加等により、医療提供体制が一時困難な状況に陥ったこともあり、引き続き新型コロナウイルス感染症等にも対応できる効率的・効果的で質の高い医療提供体制の構築が求められております。

このような状況の下、当社グループにおきましては、トータルパックプロデュース事業のプロジェクト案件が順調に推移し、新たにキングラン株式会社が当社グループに参画した一方、全事業に共通してエネルギー価格や原材料価格高騰の影響を受けました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は263,520百万円（前年同四半期連結累計期間比12.3%増）、営業利益は7,971百万円（前年同四半期連結累計期間比5.0%増）、経常利益は7,498百万円（前年同四半期連結累計期間比1.6%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は4,143百万円（前年同四半期連結累計期間比0.6%増）となりました。

セグメントごとの業績を示しますと次のとおりであります。

①トータルパックプロデュース事業

トータルパックプロデュース事業におきましては、引き続きメーカー系で電装部品調達難や原材料価格の高騰の影響を受けた一方で、プロジェクト案件の完成及び新規受注が堅調に推移いたしました。また、本年4月から保険適用対象部位が拡大したことにより重粒子線がん治療施設における新規外来受診者数及び治療件数が増加いたしました。

この結果、売上高は48,651百万円（前年同四半期連結累計期間比40.2%増）、セグメント利益（営業利益）は2,684百万円（前年同四半期連結累計期間比20.7%増）となりました。

②メディカルサプライ事業

メディカルサプライ事業におきましては、感染症対策補助予算等による案件は減少いたしました。新規SPD施設稼働が順調に推移したことに加え、手術症例数が増加したこと等により診療材料需要が回復いたしました。

この結果、売上高は184,681百万円（前年同四半期連結累計期間比6.5%増）、セグメント利益（営業利益）は2,687百万円（前年同四半期連結累計期間比1.6%増）となりました。

③ライフケア事業

ライフケア事業におきましては、給食事業において食材高騰の影響を受けるとともに、新規M&A関連費用等を計上いたしました。一方で、介護事業では引き続き高い入居率を維持するとともに経営効率化が進捗いたしました。

この結果、売上高は15,472百万円（前年同四半期連結累計期間比23.7%増）、セグメント利益（営業利益）は1,111百万円（前年同四半期連結累計期間比10.4%減）となりました。

④調剤薬局事業

調剤薬局事業におきましては、小規模のM&Aや経営効率化等を実施いたしました。薬価改定の影響及び新規出店に伴う先行費用の計上等により業績は低調に推移いたしました。

この結果、売上高は14,715百万円（前年同四半期連結累計期間比4.5%増）、セグメント利益（営業利益）は1,419百万円（前年同四半期連結累計期間比8.2%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 財政状態の分析

当第2四半期連結会計期間末の資産は360,355百万円となり、前連結会計年度末と比べて25,280百万円増加いたしました。その主な要因は、「受取手形、売掛金及び契約資産」が3,928百万円減少した一方、「のれん」が7,115百万円、「現金及び預金」が5,549百万円、「建物及び構築物」が3,152百万円及び「商品及び製品」が2,715百万円増加したこと等によるものであります。

負債は235,087百万円となり、前連結会計年度末と比べて22,331百万円増加いたしました。その主な要因は、「支払手形及び買掛金」が1,449百万円減少した一方、「短期借入金」が9,302百万円、「長期借入金」が5,142百万円、「電子記録債務」が1,466百万円増加したこと等によるものであります。

純資産は125,267百万円となり、前連結会計年度末と比べて2,949百万円増加いたしました。その主な要因は、配当の支払いにより「利益剰余金」が3,868百万円減少した一方、「親会社株主に帰属する四半期純利益」により「利益剰余金」が4,143百万円、「その他有価証券評価差額金」が1,357百万円増加したこと等によるものであります。

以上の結果、当第2四半期連結会計期間末の自己資本比率は33.6%（前連結会計年度末比1.7ポイント減）となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは7,046百万円の収入（前年同四半期連結累計期間比4,515百万円収入増）となりました。これは主に、「法人税等の支払額」が4,648百万円、「仕入債務の減少額」が4,078百万円あった一方、「売上債権の減少額」が7,582百万円、「税金等調整前四半期純利益」が7,543百万円あったこと等によるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローは5,021百万円の支出（前年同四半期連結累計期間比2,833百万円支出増）となりました。これは主に、「連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入」が382百万円あった一方、「連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出」が2,998百万円、「有形固定資産の取得による支出」が1,395百万円あったこと等によるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは2,514百万円の収入（前年同四半期連結累計期間比7,825百万円収入増）となりました。これは主に、「配当金の支払額」が3,868百万円、「長期借入金の返済による支出」が2,763百万円あった一方、「短期借入金の純増加額」が8,830百万円あったこと等によるものであります。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における「現金及び現金同等物」の残高は、前連結会計年度末に比べて4,680百万円増加し、77,484百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、概ね当初予定通りに推移しており、2022年5月10日に公表いたしました通期の連結業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	73,808	79,357
受取手形、売掛金及び契約資産	113,429	109,501
電子記録債権	4,720	4,605
リース投資資産	3,634	3,536
商品及び製品	18,778	21,493
仕掛品	2,317	3,207
原材料及び貯蔵品	1,010	1,344
その他	9,724	10,972
貸倒引当金	△895	△1,112
流動資産合計	226,529	232,907
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	20,245	23,397
土地	16,293	18,123
賃貸不動産（純額）	10,993	11,061
その他（純額）	10,464	13,556
有形固定資産合計	57,995	66,139
無形固定資産		
のれん	8,336	15,452
その他	1,017	1,261
無形固定資産合計	9,354	16,713
投資その他の資産		
投資有価証券	23,608	25,198
長期貸付金	7,518	7,386
その他	11,810	13,793
貸倒引当金	△1,741	△1,784
投資その他の資産合計	41,195	44,595
固定資産合計	108,545	127,447
資産合計	335,074	360,355

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	100,071	98,622
電子記録債務	22,173	23,640
短期借入金	2,401	11,704
未払法人税等	4,980	4,131
賞与引当金	2,461	2,453
その他	16,281	22,702
流動負債合計	148,371	163,254
固定負債		
新株予約権付社債	25,041	25,029
長期借入金	29,970	35,113
退職給付に係る負債	2,938	3,362
資産除去債務	873	1,099
その他	5,560	7,227
固定負債合計	64,384	71,832
負債合計	212,756	235,087
純資産の部		
株主資本		
資本金	15,553	15,553
資本剰余金	23,908	23,908
利益剰余金	91,964	92,239
自己株式	△15,526	△15,526
株主資本合計	115,899	116,174
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,503	2,860
繰延ヘッジ損益	1	1
為替換算調整勘定	842	2,135
退職給付に係る調整累計額	44	41
その他の包括利益累計額合計	2,390	5,038
非支配株主持分	4,028	4,054
純資産合計	122,318	125,267
負債純資産合計	335,074	360,355

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
売上高	234,663	263,520
売上原価	211,039	236,793
売上総利益	23,623	26,726
販売費及び一般管理費	16,030	18,755
営業利益	7,593	7,971
営業外収益		
受取利息	142	158
受取配当金	103	115
持分法による投資利益	90	-
貸倒引当金戻入額	7	6
その他	155	219
営業外収益合計	498	498
営業外費用		
支払利息	142	190
持分法による投資損失	-	10
為替差損	511	743
支払手数料	29	13
その他	30	14
営業外費用合計	714	971
経常利益	7,378	7,498
特別利益		
固定資産売却益	1	17
投資有価証券売却益	1	-
補助金収入	-	45
その他	-	0
特別利益合計	2	64
特別損失		
固定資産売却損	1	2
固定資産除却損	2	13
その他	-	3
特別損失合計	3	18
税金等調整前四半期純利益	7,376	7,543
法人税、住民税及び事業税	2,777	3,378
法人税等調整額	606	304
法人税等合計	3,383	3,683
四半期純利益	3,993	3,860
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△124	△283
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,118	4,143

四半期連結包括利益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益	3,993	3,860
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△369	1,357
為替換算調整勘定	41	1,541
退職給付に係る調整額	10	△4
持分法適用会社に対する持分相当額	△5	20
その他の包括利益合計	△323	2,914
四半期包括利益	3,670	6,774
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,788	6,791
非支配株主に係る四半期包括利益	△118	△16

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	7,376	7,543
減価償却費	1,738	2,189
のれん償却額	934	1,176
持分法による投資損益 (△は益)	△90	10
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△232	△465
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	50	201
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	58	40
受取利息及び受取配当金	△245	△273
支払利息	142	190
売上債権の増減額 (△は増加)	21,917	7,582
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△2,446	△3,202
仕入債務の増減額 (△は減少)	△19,547	△4,078
リース投資資産の増減額 (△は増加)	82	98
その他	△1,321	440
小計	8,417	11,453
利息及び配当金の受取額	356	432
利息の支払額	△144	△190
法人税等の支払額	△6,098	△4,648
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,531	7,046
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△92	△185
定期預金の払戻による収入	86	240
有形固定資産の取得による支出	△1,660	△1,395
有形固定資産の売却による収入	22	114
無形固定資産の取得による支出	△158	△307
短期貸付けによる支出	△200	△107
長期貸付金の回収による収入	136	198
投資有価証券の取得による支出	△7	△116
関係会社株式の取得による支出	△121	-
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	24	382
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△117	△2,998
その他	△99	△846
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,187	△5,021

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	627	8,830
長期借入れによる収入	262	471
長期借入金の返済による支出	△2,235	△2,763
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△3,774	△3,868
非支配株主への配当金の支払額	△16	△22
リース債務の返済による支出	△125	△132
その他	△48	-
財務活動によるキャッシュ・フロー	△5,310	2,514
現金及び現金同等物に係る換算差額	△41	139
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△5,009	4,680
現金及び現金同等物の期首残高	72,950	72,804
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	8	-
現金及び現金同等物の四半期末残高	67,949	77,484

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)2
	トータル パック プロデュース 事業	メディカル サブライ 事業	ライフケア 事業	調剤薬局 事業	計		
売上高							
(1) 外部顧客に 対する売上高	34,705	173,368	12,504	14,084	234,663	—	234,663
(2) セグメント間の 内部売上高又は振替高	864	696	90	45	1,696	△1,696	—
計	35,570	174,064	12,594	14,129	236,359	△1,696	234,663
セグメント利益	2,224	2,646	1,240	1,547	7,658	△64	7,593

(注)1 セグメント利益の調整額△64百万円には、セグメント間取引消去△36百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用等△21百万円等が含まれております。全社費用等は、主に親会社本社の子会社からの運営費用収入、営業費用及び報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費の純額であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、管理区分の変更に伴い、従来「その他」に含まれていた事業を「トータルパックプロデュース事業」等を含める等、報告セグメントの区分変更を行っております。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれんに関する情報

当第2四半期連結累計期間において、固定資産に係る重要な減損損失の認識、のれんの金額の重要な変動及び重要な負ののれん発生益の認識はありません。

II 当第2四半期連結累計期間（自 2022年4月1日 至 2022年9月30日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 2
	トータル バック プロデュース 事業	メディカル サプライ 事業	ライフケア 事業	調剤薬局 事業	計		
売上高							
(1) 外部顧客に 対する売上高	48,651	184,681	15,472	14,715	263,520	—	263,520
(2) セグメント間の 内部売上高又は振替高	1,341	722	28	49	2,141	△2,141	—
計	49,992	185,404	15,501	14,764	265,661	△2,141	263,520
セグメント利益	2,684	2,687	1,111	1,419	7,903	67	7,971

(注) 1 セグメント利益の調整額67百万円には、セグメント間取引消去△29百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用等98百万円等が含まれております。全社費用等は、主に親会社本社の子会社からの運営費用収入、営業費用及び報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費の純額であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの資産に関する情報

当第2四半期連結累計期間において、キングラン株式会社を取得し、連結の範囲に加えております。

当該事象により「トータルバックプロデュース事業」セグメントにおいて、前連結会計年度の末日に比べ資産が26,202百万円増加しております。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれんに関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

当第2四半期連結累計期間において、キングラン株式会社を取得し、連結の範囲に加えております。

当該事象による「トータルバックプロデュース事業」セグメントにおけるのれんの増加額は、当第2四半期連結累計期間においては7,101百万円であります。

なお、のれんの金額は当第2四半期連結会計年度末において、取得原価の配分が完了していないため、入手可能な合理的な情報に基づいて暫定的に算出された金額であります。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。